

虎の門病院分院精神科

「修正型電気けいれん療法」のご案内

- ・電気けいれん療法（以下、ECT）は電氣的刺激によって脳に全般的の発作活動を誘発し、臨床症状の改善を得る保険適応のある治療法です。
- ・当院では麻酔科医の管理による静脈麻酔薬＋筋弛緩薬をもちいた修正型ECTをおこなっています。
- ・刺激装置は「サイマトロン®」（右下）を使用します。



1 対象となる方

- ・うつ病、双極性障害、統合失調症、緊張病候群と診断されている
- ・ECTについて本人から同意が得られる

2 ECTの利点・欠点（薬物療法との比較）

- ・利点
早い回復が見込める
薬物療法で生じる有害事象（便秘、過鎮静、パーキンソニズム、体重増加、不整脈）が軽減できる
- ・欠点：
頭痛、筋肉痛、せん妄、一過性の記憶障害といった有害事象がある
全身麻酔のリスクがある

3 ECT前の検査内容

種類	内容
血液検査	血算、電解質、生化学検査
頭部CT（頭部MRI）	急性期脳出血・脳梗塞の除外
脳波	てんかん・脳波異常の評価
心電図・心エコー	不整脈・虚血性心疾患の評価
胸部レントゲン	肺炎・心不全の除外

4 入院までの流れ

■他の病院にかかりつけの方

(1) かかりつけ病院から診療情報提供書（紹介状）を作成してもらってください。

(2) 患者支援部に電話して初診の予約をとってください。

TEL：044-857-9411（患者支援部直通：平日 9～16時）

(3) 当院の初診外来で診察をおこないます。

この際に診療情報提供書（紹介状）をお持ちください。

ECTの適応があると判断された場合、入院の予約をお取りします。

初診時に頭部CTと血液検査をおこないます。

(4) 入院日が決定したら、当院より患者さんに電話でお知らせします。

■当院にかかりつけの方で検査入院をご希望の方は、主治医にお申し出ください。

5 ECT決定から施行までの流れ

説明同意	入院担当医より治療概要、麻酔科医より麻酔の説明 患者はそれぞれの同意書へ署名する
前日	21時から絶飲食
当日	朝バイタルサインチェック 6時に必要な薬を服用する
手術室へ移動	ストレッチャーで手術室へ移動する
治療準備	酸素吸入、モニター・電極パット装着
麻酔導入	麻酔科医の管理のもと、全静脈麻酔＋筋弛緩（サクシニルコリン）を施行する
治療	サイマトロンにより電気刺激を行う。 生じた発作の有効判定を行う。 発作終了後、覚醒を促す。覚醒後に病棟へ帰室する
帰室後	酸素投与、30分おきのバイタルサイン測定、モニター監視を行う 覚醒・ふらつきを確認して問題なければ安静解除をし、飲水テストを施行する
上記を週2日（月・木）、合計8～12回繰り返す	



国家公務員共済組合連合会

虎の門病院 分院

TORANOMON HOSPITAL KAJIGAYA